修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　早川泰雄
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（順ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）3—36337

54年度新幹線こだま号専用列車

国鉄、廃止を打ち出す

定期列車で分割輸送

校長会 修旅委 結論まで曲折が予想

五十四年度から新幹線「こだま号」の修学旅行専用列車を廃止し、定期列車で分割輸送したい——。国鉄側の申し出に対し「こだま号」専用列車を利用する各都道府県中学校では校長会や修旅委で急拠対策会議を持つなど検討をすすめている。全修協と三地区修旅連絡協でも事態を重視、傘下修旅委の動向を注視するとともに今後の対策を練っている。地区または府県によってはこれに反対の機運もみられ、成り行きによっては国鉄側の意向に添えるかどうか、情勢はなお流動的である。【関係記事3面に也】

こだま号 効率化ねらう

国鉄が「こだま号」修学旅行列車廃止の理由としてあげているのは①新幹線、在来線とも今後ますます要員需給面から臨時列車の運転が困難となる②東京—新大阪間定期「こだま号」の輸送力に余裕がある③団体専用臨時列車運転の場合、車両運用の都合上、必要の有無にかかわらず対抗列車の運転が伴う（注＝例えば東京に十本の列車を保有するときは新大阪でも同数の列車を備えてあり、臨時列車が一本出ると数のバランスをとるため相手駅から空車で運転しなければならないことなどの意味）④関係官庁筋から輸送効率の向上について、しばしば指摘を受けているの四点。

さらに「これらの状況を勘案しこの際、経費の節減をはかり、あわせて東京—新大阪間「こだま号」集約臨時列車利用旅客を定期列車で分割輸送する。その前提として団体旅客の座席確保のため、東京—新大阪間「こだま号」の指定席を必要に応じて拡大措置をとる」として次の計画を示している。

①一定期間、全列車の指定席号車拡大②平常時一—四号車指定（定員三百八十五、団枠二百四十）拡大時一—七号車指定（定員六百七十五、団枠五百八十）とする③拡大期間は四月中旬、五月中旬から七月中旬まで（注＝秋季は集約専用列車の運転本数が僅少であり、また、とくに十月の多客期には自由席需要が増大することを考慮してこの方式を採用しない）④集約団体調整としては現行専用列車前後の定期列車三本で輸送。

（注＝地区によっては三本を超える場合もある）

このほか案内、掲示ないおよび号車番号の表示整備を行い、実施は五十四年春としている。なお、「ひかり号」の専用列車は現行通り。

二月八日までの経過次の通り。

【経過】一月二十日、国鉄本社旅客局営業課長補佐中沢洋也氏らは全修協本部を訪れ、前記の趣旨に基づく要請を行った。全修協としては関東地区中学校修旅委、東海二県中学校修旅委および近畿二府四県中学校修旅委、さらに三地区中学校修旅連絡協議会と共同歩調を取っているため各団体へそのむねを通知し対策を講じたいと回答した。

各修旅委では現在、校長会などと協議をかさねているが、学年末の繁忙期を迎えているため結論のまとめにはなお時日を要する見込みだ。

シワ寄せに反発も

三月八日現在、全修協、三地区修旅連絡協関係の各地区の動向は次の通り。

【関東】関修委（伊藤守会長）では一月三十一日、全修協本部で緊急各県委員長会議を開いた。国鉄から本社旅客局営業課長補佐中沢洋也、同首都圏本部旅客課長補佐並木新寿氏らも出席、概要説明後、協力方を要請した。関修委としては各県に持ち帰って検討し、二月二十三日に成田市で行われる研究発表会のあと運営委を開いて情勢を分析、三月二日の運営委で結論を出したいとしている。

しかし各県の事情が異なるため早急に決定をみることは困難なようだ。

【東海】東海二県中学校修旅委（小笠原健治会長）にはすでに十二月六日、国鉄側から要請があった。一月十日、各県代表者会議では五本にわたる分割輸送に難色を示し、とくに名古屋市の中学校では反対の意向が強いという。

【近畿】一月三十日、国鉄から修旅委に対して正式要請があった。これに基づいて二月六日の大阪府中学校長会では反対を表明、さらに二月八日の近修委でも国鉄案に応じられないとの意向を明らかにしている。

現在まで全修協広報部がまとめた各地の動きをみると希望条件が整わねば反対、教育的見地から絶対反対との意見が多数を占めている。反対側の理由としては①専用列車の廃止は国鉄運賃法および国鉄法の一部改正案の国会成立の肩代わりとみられ、平均乗車率五〇％の定期こだま号への移行は修学旅行へのシワ寄せだ。②分割輸送によって時間差が生じ、見学個所などの削減も予想される。とくに同一市内の中学校で差違が生じることは教育上に問題がある。③遠隔地の学校が新幹線発着地から「つなぎ列車」を利用する場合、前着、後着の待ち時間の差により生徒管理に難点が生じるなどがあげられている。

いずれにしても各修旅委—都市中学校長会—都道府県中学校長などの意見を調整する必要があり、決定までには迂余曲折が予想される。

会長に瀬尾武敏氏

あおぞら号 近畿地区で再選

【関西支局】あおぞら号近畿地区運営協議会では十二月七日、大阪市天王寺区のグリル近鉄で①五十一年度近畿学童共済会会計報告②五十二年度役員改選③五十四年度あおぞら号乗車申込みについて協議した。

役員改選では会長に瀬尾武敏氏を再選したほか役職員を決定した。五十四年度の乗車について原案を検討、利用申込書を各府県市の幹事長経由で各学校へ配布することなどを決めた。

五十二年度の役職員は次の通り。（順不同、敬称略）

【会長】瀬尾武敏（大阪市立堀江小）

【常任委員】大熊辰夫（大阪市立天王寺小）中谷富士夫（奈良市立佐保小）谷川光次（神戸市立東灘小）西岡権治郎（全修協大阪支部長）大谷明（近鉄上本町営業局次長）

【委員・監査】広瀬文男（天理市立前栽小）村岡三良（尼崎市立武庫東小）

【委員・会計】山田喜和（大阪市立苗代小）

【委員】高橋計次（和泉市立国府小）森本伊三郎（堺市立浜寺小）森本幸雄（大阪市立市岡小）末吉義一（大阪市立古市小）百地保次郎（奈良県橿原町立橿原小）古川利文（生駒市立真弓小）新谷康祐（奈良県北葛城郡香芝町立関屋小）柏木千代蔵（神戸市立東舞子小）有田国夫（西宮市立甲東小）森口直政（伊丹市立伊丹小）伊藤薫（近鉄業務局営業企画部長）林弘（同課長）

【特別委員】乾英三郎（元大阪市立南大江小）

【事務主幹】加藤正日子（近鉄上本町営業局運輸部営業課長）小西悦二郎（全修協大阪事務所長）

第19回 全修協の通常総会

二本柱を積極推進

2月24・25日 熱海市で開く

財団法人・全国修学旅行研究協会（山本種一理事長）の第十九回通常総会は二月二十四、五日、熱海市の新熱海ホテルで開催される。当日は来賓をはじめ全役員、友誼諸団体の代表者約百名が出席する。

第一号議案では五十二年度事業報告、第二号議案「五十三年度事業ならびに財政計画に関する件」では本年度の事業と活動の基本線が強く打ち出される。

「修学旅行の改善向上」と、「教職員の文化厚生運動としての研修旅行」を二本柱とし、修学旅行に関しては委員会組織の強化、連合体の拡大を積極的にすすめたいとしている。なかでも委員会については未組織の県にテコ入れをするほか、昨年秋に開かれた三地区修旅連絡協（関東、東海、近畿二府四県加盟）の総会で福岡県の加入を正式決定したことから、本年度は同県を含む九州全県加入の促進を図ることになる。

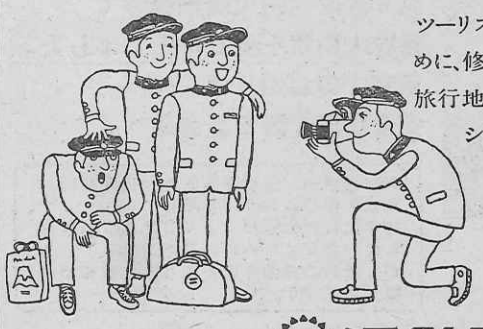
また、本年度二十二年目を迎えた研修旅行は三季制によって悲願の一万名達成を期しているのが特色で、総意による推進は大いに期待されよう。

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務である。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

風紋

「あかりをつけましょ、ぼんぼりに…」とうたわれる雛まつりの日が間近かい。地方によっては、まだ豪雪の名残りがあっても、春の光はだんだんまぶしくなり、弥生の空に霞が立つ。春三月、女の子にとって楽しい桃の節句の雛まつり。毛氈の雛段にならぶ内裏さま、三人官女に五人囃子など、気取った表情で佇ずんでいる▼竹筒に盛った魚や貝などの金花糖の菓子を食べ、舌が食紅で真赤になったこと、白酒の代わりに甘酒を幾杯ものんだことなど、幼ない日の思い出がなつかしい▼雛まつりは平安時代がはじまりで、そのころ貴族の間で行われていた「ひいな遊び」が起源という。この遊びは今のままごとであろう。貴族たちは紙人形を作り、それにけがれや災いを移して川に流す厄払いの風習を持っていた。現在でも全国にその例がみられる▼古代中国では三月はじめの巳の日に、水辺でミソギをする習慣があったといわれ、やはり中国大陸からの伝来である。平安朝民間でも経文や人形を木、竹に結び、子どもの枕元に置いて災いの身代わりにさせたという。木彫に励んでいる作家の瀬戸内晴美さんも「すべて、生身の人間の身代りを需めようとして人は人形に憧れる」と書いているが、人形に惹かれるのは人間の本能かもしれぬ。信仰から鑑賞へと変わっても雛人形は子どもにとっては春のマスコットである▼父が初孫のために、どこからか木目込みの内裏さまを買ってきた。一〇㌢と七㌢の一対で、「小倉立雛」と父の手で箱書きがしてある。松と藤の文様で、金襴、ちりめんをまとい、どちらも童顔をほころばせている。それから三十余年、その父はすでに亡く、人形を貰った孫も二人の子持ちの母となった▼それでもその雛人形はいまでも若々しく、かわいい丸顔に笑みをたたえている。母から子どもへ、そしてその孫へとこの雛人形は譲られていくだろう。人間の血のつながりが、雛まつりの伝承とともに永遠であることを秘かに願うのである。

ツーリストの修学旅行は新鮮です。



ツーリストでは、より充実した修学旅行のために、修学旅行用の映画を製作いたしました。旅行地別に編集した16ミリカラー「学習の旅シリーズ」、日本の文化・歴史・自然などを広範囲にとらえた「ツーリスト映画シリーズ」など約20編。事前のオリエンテーションのほか、学習の教材にもどうぞご利用ください。

近畿日本ツーリスト
運輸大臣登録一般旅行業第20号

KANSAI KISEN

思い出の修学旅行
印象的な、
瀬戸内海の船旅

●貸切専用船「こはく丸」もご利用下さい
●阪神／別府航路（毎日3便）
●阪神／小豆島・高松便（毎日1便）
●東神戸／日向（宮崎）フェリー（隔日1便）

お問合せは＝大阪市港区弁天6—7—15 ☎(06)574—9161
東京都中央区八重洲1-9-9 ☎(03)274—4271
ほか、各地支店駐在員・旅行代理店へ
関西汽船

全修協企画・教職員

春の研修旅行

豊富な学習資料が

特選14コースで募集中

全修協企画の第二十二回春季教職員研修旅行は冬季につづき三月下旬、十九コースでいっせいに催される。春季の特色は教職員の要望にこたえて特別研修コースを増やし、研修行事と指導講師陣の強化したことである。要項はすでに全修協各都道府県支部と友誼協力機関を通じて各学校に掲示してあるのでご覧のうえ、二月末日までにチラシ記載のところにお申込みのこと。以下、コースの一部について研修個所のご案内！

強烈な南国風景も

沖縄・石垣・宮古コース

沖縄は辺境の離島という地理的条件から、わが国のなかでは最も特異な歴史を持っている。産物にも恵まれなかったけれど、中国や朝鮮、ジャワ、スマトラなど南方の国ぐにと交易し、その中継貿易で得た文物から独自の文化を築きあげていった。そのため沖縄文化はわが国の文化にとって一つの潮流となったともいえるだろう。

九州沖から台湾沖にかけて連なる琉球列島のうち、アメリカの統治下にあった北緯二七度以南の沖縄の島々は合わせて六十余島、面積では神奈川県とほぼ同じ。

主島の沖縄本島、密林地帯の西表島、パインの生産を誇る石垣島にサトウキビの宮古島など、サンゴ礁の連なる海の県といってよい。亜熱帯樹やデイゴ、ハイビスカス、ブーゲンビリアの花など南国の色彩でいちめんを飾る。

その反面、第二次世界大戦の国土防衛の戦場となった痛々しい思い出も秘められている。さらに現在でもアメリカ軍の基地が存在し複雑な悩みを抱いているのも事実である。われわれは明るい風光と豊かな史跡に接するとともに、三十余年前の悲惨な姿をそこに思い起す必要があるだろう。

■研修行事「沖縄の歴史と概感」県立博物館学芸員・上江洲均氏の講演。「八重山諸島の歴史と文化」石垣高校教諭・大浜英宣氏の同行解説と講演。

【那覇市】県都那覇は空港や商港を抱えた国際都市。人口約三十万。ここは昔「浮島」とよばれる離島だったが、五百二十七年前に当時の琉球国王が、首都首里との間に堤を築いて陸つづきとした。大正十年、首里とともに市制をしく。

市役所の玄関前には彫刻家・朝倉文夫氏作の青年像「生誕」がある。新しい沖縄の出発を祈って贈られたもの。沖縄のメイン・ストリートは国際大通り。一帯におよぶ繁華街である。

【県立博物館】復帰前の琉球政府立博物館。収蔵品も多く、諸国との交流による品々をはじめ被圧制時代の名残りも垣間みられる。

【守礼の門】約四百五十五年前に建てられ、王朝時代の代表的建築の国宝であったが、戦争で焼失し、戦後に復元された。首里域の第二楼門で、第一門は中山門、むかし首里城は中山城ともいわれた。

扁額の「守礼之邦」は「平和の国」と解され、沖縄の歴史の象徴として名高い。赤白の瓦屋根、二層の屋根と四本の柱の均衡する姿が美しい。

【金城石畳】金城は「かなぐしく」という。戦前、首里は石畳の町で、古都にふさわしいたたずまいをみせていたが、爆撃を受けてからは面目を一新した。しかし、奇蹟的に一部の石畳と石垣は難をのがれたので、往時の姿をしのぶことができる。貿易で栄えた十五世紀の尚真王時代、首里城周辺の美化と貿易港那覇にいたる幹線道路整備のために造られたという。

【浦添・ヨードレ王陵】浦添市南側の小丘に浦添城跡、その北側下に英祖王と王尚寧の墓陵がある。

浦添の浦は津々浦々、添は治めるの意という。ヨードレは英祖王代に初めて仏寺が建てられたことで、極楽から転化した墓陵の意味だともいわれている。墓陵のなかの石厨子は重要文化財。

【幸地腹門中墓】幸地一門の共同の墓である。沖縄では家屋よりも墓を大切にする風習があるため各所に立派な墓があり、これも代表的なもの。約三千三百平方尺の敷地に本墓、四基の仮墓がある。功労者や高齢者が死んだとき直接入れるのが本墓、幼児や一門の名を汚したものは別の遺骨安置所に入れる。風葬時代にはまず仮墓に埋葬、三年後に本墓へ移すならわしがあったという。

【南部戦跡】糸満市の南、真壁米須、摩文仁一帯は太平洋戦争で日米両軍が死闘をくりかえしたところで、慰霊塔も多く線香のけむりが絶えない。ひめゆりの塔、健児の塔、れいめいの塔もここに。

春の研修旅行一覧

三月下旬に行われる全修協企画・春の研修旅行は次の十四コース。日数は東京起点。

一般研修

▽山陰の小京都＝津和野・萩と山口（三泊四日）▽南四国（四泊五日）▽西九州（四泊五日）▽南九州（四泊五日）▽沖縄＝本島と石垣・宮古（四泊五日）

特別研修

▽若狭の文化財と丹後の民芸（三泊四日）▽早春の京都（二泊三日）▽ふたつの飛鳥と山の辺の道（三泊四日）▽古墳探訪＝信楽・美濃・瀬戸（二泊三日）▽隠岐と出雲路（三泊四日）▽筑紫路と壱岐（四泊五日）▽九州の古墳と装飾古墳（四泊五日）▽国東文化（三泊四日）

海外

▽ベトナム・タイ（十泊十一日）

昨年度研修旅行写真コンクール入賞作品・晩夏の信濃路コース「流れる霧と雲」西谷育子さん（大阪府）

切支丹哀史を綴る

春光の西九州コース

西九州コースは耶馬渓の大分を振り出しに、阿蘇山、水前寺公園キリシタン殉教の地、本渡市などの熊本から原爆被災地となった長崎、さらにキリシタンの哀史を秘める佐賀の平戸、最後に筑紫平野に入って福岡の太宰府を訪ねる。

■研修行事「西洋文化伝来の跡」平戸市内同行し指導解説＝平戸市商工観光課・市山博一氏。

【深耶馬渓】阿蘇山台地が浸触されてできた渓谷。耶馬、日田、英彦山国定公園の中心をなしている。耶馬渓は本耶馬渓など十か所から成り、深耶馬渓はその一つ。ここの中心は「一目八景」で、錦雲峰にかけての景観がすばらしい。入口にある青の洞門は約二百四十数年前に僧の禅海がノミとツチだけで四十年をかけて作ったというトンネル。菊池寛の小説「恩讐の彼方」のモデルとなった。

【阿蘇山】阿蘇国立公園の総面積は約七十三㌶で、根子岳、高岳中岳、烏帽子岳、杵島岳から成っている。いまもすさまじい噴煙をあげる中岳の山頂まで登山できる。麓の草千里が浜は赤牛の放牧場で、ここも火口原カルデラの盆地である。

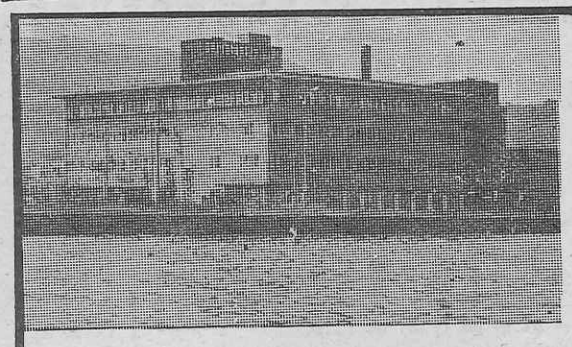
【熊本市】肥後五十四万石の城下町であった。大宝元年（七〇一）に肥後国府が置かれてから肥後の中心として栄えた。熊本城は加藤清正が慶長六年（一六〇一）から七年の歳月をかけて完成したものだが、西南戦争のとき焼失、現在では字土橋、不開門などが残っている。

【水前寺公園】加藤家の廃絶後細川忠利が肥後の大守となり、寛永九年（一六三二）ここに水前寺を建てた。そのあと光尚、綱利の三代にわたり東海道五十三次を型どった桃山風の回遊式庭園を作った。成趣園（じょうじゅえん）が正式の名称。池畔にある「古今伝授の間」からの眺めがすばらしい。

【本渡市】下島東岸にあり、天草の中心都市。本渡城跡は現在殉教公園とよばれる。天草歴代の居城として栄えたが、加藤清正、小西行長らによって天正十七年（一五八九）落城。園内には天草の乱で死んだ人たちを葬る千人塚、キリシタン墓地、キリシタン館などがある。

【長崎市】長崎は十六世紀の後半、ポルトガル船が来航してから華々しく史上に登場した。さらにヨーロッパの貿易港となったのは元亀二年（一五七一）で、いろいろな物品のほかキリスト教文化も移入された。新しい宗教に対する徳川幕府の大弾圧は、そのまま長崎の歴史ともなった。さらに第二次世界大戦では広島とともに原爆の被災地となったことも記憶に新しい。国際平和公園は原爆公園ともよばれ、園内の国際文化会館には原爆資料室がある。公園の片隅の角塔は爆心地の記念碑。

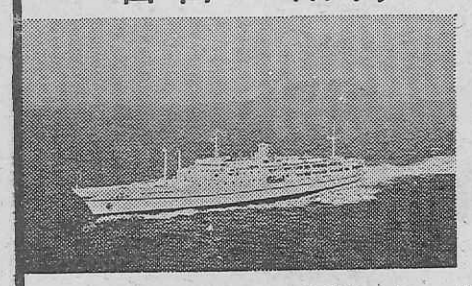
大浦天主堂は殉教者慰霊のためフランスの宣教師フェーレによって建てられ、慶応元年（一八六五）に献堂式が行われた。日本最古の木造ゴシック建築として国宝。隣接のグラバー邸はイギリスの死の商人といわれた武器商人トーマス・グラバーが住んでいたところで、復元された木造洋館と洋式庭園である。

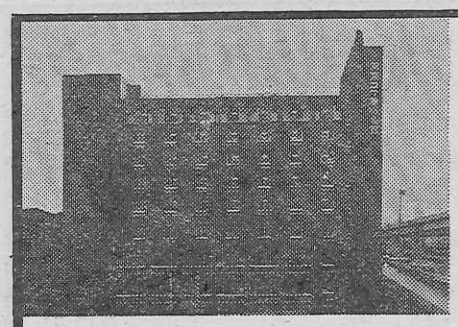


いらっしゃいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ
収容　600名様
浴場　150名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
駐車場　バス20台
政府登録
国際観光旅館　びわ湖ツーリスト・ホテル
大津市におの浜3丁目2－25　電話　大津(0775)24－2321

We'll be No.1（世界一をめざして）
奥別府安心院草原
115万m²の野生の王国…
■営業時間／午前9時～午後5時
（冬期12/1～3/15午前9時30分～午後4時）
■修学旅行料金
高校生　900円
中学生　600円
小学生　500円

－年中無休－
〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑字西の台TEL(09784)8－2331代
東京事務所・文京区湯島4－6－11　TEL (03) 816－4843

若者・紺青の海・純白の船

貸切専用純客船
さくら（13,000トン）
ひかり（4,000トン）
・スケジュール・コースはご自由に
・旅客定員 1,800名
・サロン・休憩室・医務室完備
・船内でのグループ活動・学習に最適
・全室エアコン完備
・一般客との混乗なし
Ⓐ大島運輸株式会社東京支店　東京都中央区日本橋通1－3－11 浅野ビル9F　TEL 03-273-8911


東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。
東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。
ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585－1046(代表)
東京 コマ旅行会館